



ストリートチルドレンの大逆転劇 ～NGOエクマッタの挑戦～

阪南大学
ソーシャルビジネス

2023年11月29日



目次



- 代表：渡辺大樹プロフィール
- エクマットラ誕生まで
- エクマットラ活動紹介
- アカデミーの生活
- ストリートMBA構想
- エクマットラの目指す先



プロフィール



渡辺 大樹 (わたなべ ひろき)



NGO Ekmattira Society 共同代表
Ekmattira Entrepreneurs Ltd. 代表
NPO法人エクマッタラジャパン 代表
バングラデシュ野球連盟代表監督

高校時代は野球、大学時代はヨットに打ち込む。
ヨット国際大会の際に見たタイのストリートチルドレンが忘れられず
アジア最貧国と呼ばれていたバングラデシュでの活動を決意。
2003年8月に現地の大学生達とEkmattiraを立ち上げた。
2010年には青年版国民栄誉賞である
「人間力大賞グランプリ・内閣総理大臣奨励賞」を受賞



※写真はイメージです



代表チームが勝利を収めた時

「アンテナ×タイミング」で今ここにいる



きっかけはタイでバスから見たスラム街にいるストリートチルドレンの瞳。

どこかで見えた**アジアの最貧国バングラデシュ**という存在と、
部活が終わりこれからの自分を考えていた**タイミング**。

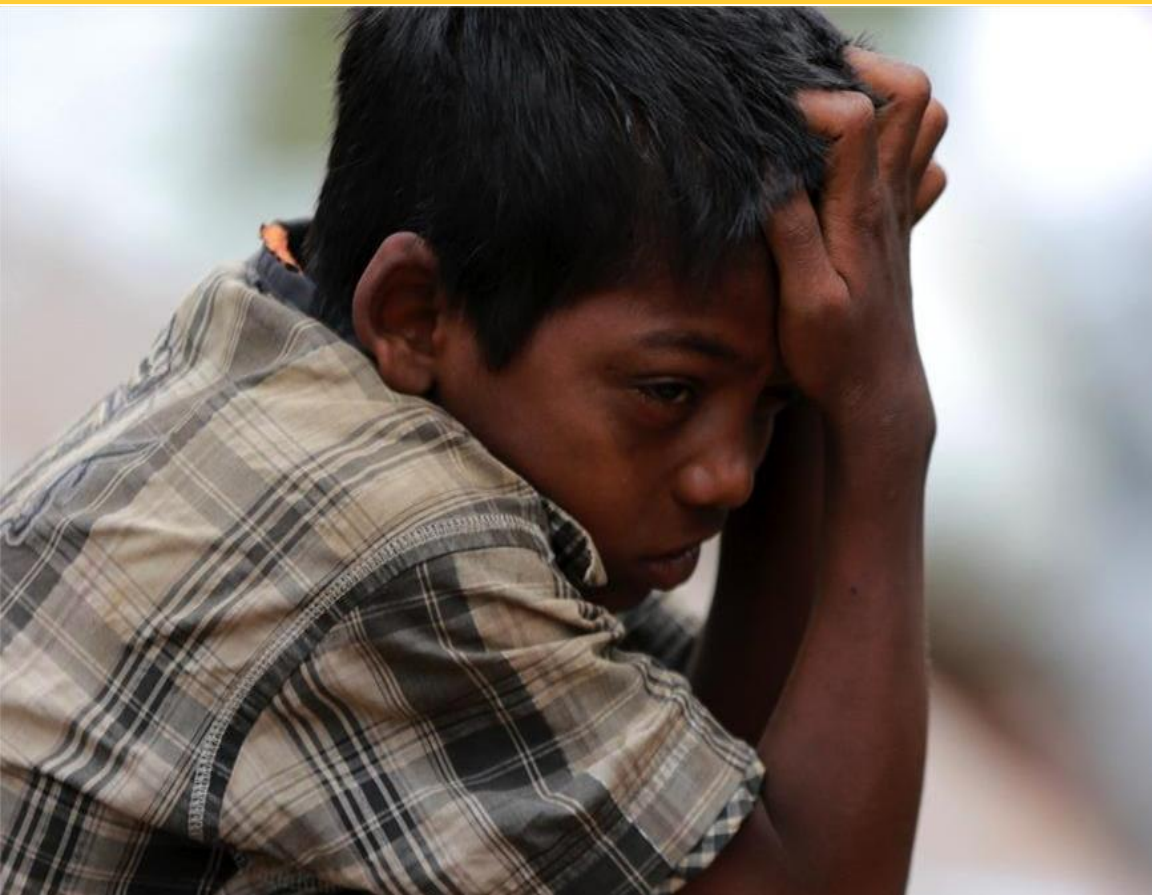
これらが組み合わさって**衝撃が行動に変わった**。

エクマットラを立ち上げるまで



ダッカ大学へ入学して出会った仲間と活動開始。
少しずつ信頼を得て青空教室を築いていった。

ダッカには30万人のストリートチルドレンが存在



家庭の貧困、親からの暴力等を理由に首都ダッカへ出てくる子ども達が多数。

「格差や偏見が溢れる社会に、“みなが共有できる一本の線”を描く」

社会的に存在する大きな格差を埋めていくためには双方の歩み寄りが必要であり、ふたつの切り口から取り組んで一つの線を描きたい。

社会の裕福層への啓発活動

- ❖ 映画制作・上映活動
- ❖ SNSを通じた啓発
- ❖ イベントの開催

ストリートチルドレンへの教育活動

- ❖ 青空教室の実施
- ❖ チルドレンホームの運営
- ❖ アカデミーの運営
- ❖ ストリートMBA事業の展開

映画による社会啓発



エクマットラ共同代表が監督として映画を制作。

リアルなストリートチルドレンが出演をして、バングラデシュの社会にある格差問題を浮彫りにしている。日バ両国で計200回以上の上映会を開催。



全ては青空教室からはじまった



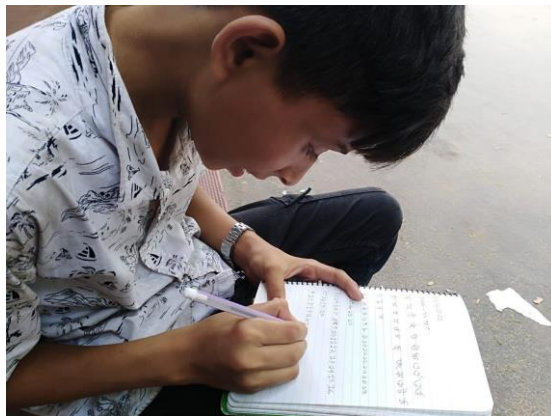
エクマッタの活動の原点である青空教室。
ダッカ内数か所で、多くの子ども達を集めて学ぶ
ことの楽しさと、自分の可能性を伝え続けた。



フィールド活動でのレスキュー活動



フィールドスタッフとともに知育ゲームやリズムゲームを実施。勉強意欲の高い子に対して課題を与えて、学ぶことの楽しさを知るきっかけを作るとともに、保護すべき子どもの情報を集め、レスキューセンターへの橋渡しを行う。



集団生活の訓練をするチルドレンホーム



現在は、高等教育に励む年長の元ストリートチルドレンの女の子達の生活の拠点となっている。また、路上からレスキューされた男の子が次段階のアカデミーに行くまでの一時的なシェルターとしても機能している。



“ホンモノ”の人間を養成するアカデミー



2018年、ダッカから北へ170キロのインドとの国境沿いにアカデミーを開校。

現在4歳～16歳の約50名の男の子が共同生活をしている。



アカデミーから生まれる可能性



大自然の中で子ども達のがのびのびと生活できる場を作りたいというエクマツトラ創設メンバーの想いを体現した全寮制リーダー養成校。動物とともに生き、植物のお世話をし、自然の中で遊ぶという環境を提供している。子ども達の可能性を信じて「社会がアッと驚く次世代のリーダー」を養成している。



アカデミーでの様々な活動



アカデミーでの教育



2年生まではアカデミー内で教育を受け、3年生から地域の小中学校へ通っている。自学自習の習慣化を徹底するとともに、バングラデシュ特有の暗記教育ではなく、思考力を養うことに注力している。



アカデミーのKUMON導入



バングラデシュ初のデジタルKUMON導入校として、アカデミーが選ばれ、22年8月から教室がスタート。子ども達の計算力向上と先生の勉強に対する意識向上を目的に導入され、デジタル教材を通じて、より質の高い日本の教育が提供されている。



路上から大学生が誕生



シュモン

バングラデシュ大学
社会学科2021年卒業



ディープ

カナディアン大学
メディア学部2年



ラジブ

日系アニメーション
スタジオ勤務



ナスリン

バングラデシュ大学
社会学科2022年卒業

政府観光庁
ホテルマネジメント
コース終了



でもアカデミーだけで問題は解決しない

現システムでアプローチできない子どもも達へ



路上には10歳以上の子どもも多数。
学業の遅れは取り戻しにくい。



学業の道以外に、社会のリーダーになっていくには
どのような方法があるのか

路上でビジネスを教えるストリートMBA



水売りとして1日300tkを稼ぐ × 3か月



ゆで卵売りとして1日500tkを稼ぐ × 1年



路上で茶店などの露店を開店する × 2年



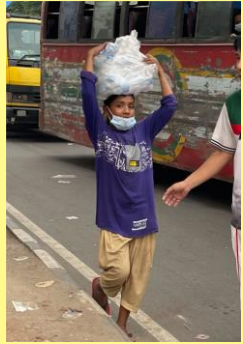
テナントを借りて自分の店を開く × 5年



10年後、MBAを取得しているような大卒者をも雇うビジネスマンに



ストリートMBAで大逆転



Sifat (13歳)

父親の虐待を理由に路上へ。
苦手な算数を学びながら水を売って貯蓄をするノウハウを身につけている。



Sumon (18歳)

独自のテクニックで平均500TK/日、月間約10000TKの貯金に成功。
この地域のメンターとしての役割も持つ。

路上「なのに」ではなく、「だからこそ」

- ❖ 固定費がかからないため出費が最小限
- ❖ 苦しいときを知っているから人に優しくできる



エクマットラが目指すところ



現地の問題は現地の人々が解決できるよう、自立かつ持続可能な仕組みを創る。
エクマットラの子ども達が、可能性が開かれた人生のロールモデルとなる。
彼らが得た機会を次の世代に還元していく好循環をつくる。



子ども達の大逆転劇を共に応援しましょう！



マンスリーサポーター募集！
詳しくはこちらから



エクマトラサポーター



日々の情報発信はこちらから！



子ども達の嬉しいニュースやエクマッタの活動の様子を発信中！



連絡先：info@ekmattrra.org

世界って、
変えられると思おう。

